

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する多施設後ろ向き研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 整形外科（研究責任者）澤田 浩克</p>
<p><研究期間> 承認日 ～ 西暦 2023年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 本研究の目的は、脊椎・脊髄損傷で入院加療した65歳以上の高齢患者における、受傷機転や損傷状態、治療方法およびその成績、合併症などの臨床データを調査することです。本研究は多施設共同研究です（責任機関：金沢大学附属病院）。 脊椎・脊髄損傷は交通事故や高所からの転落などにより発生する外傷ですが、超高齢社会を迎えた本邦において、近年では高齢者の転倒や転落が増加しています。脊椎・脊髄損傷の患者年齢層や受傷原因の変化に伴い、損傷形態や治療方法、合併症の評価やその対策を検証することは、現在の運動器診療における重要な課題です。しかし、本邦において高齢者の脊椎・脊髄損傷に関する大規模かつ全国的な疫学、治療成績、合併症などの報告はありません。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 年齢、性別、身長・体重、受傷状況、画像所見、既往症、治療方法、合併症、転帰など</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦2010年1月1日～西暦2021年3月31日の期間に当院整形外科で脊椎・脊髄損傷による入院治療をされた、65歳以上の方</p>
<p><研究の方法> 調査結果は、研究参加施設の研究担当に送付され、データ解析が行われます。</p>
<p><外部への試料・情報の提供等> 調査結果は、当病院で匿名化されたデータ記載を行い、入力終了したデータシートは電子ファイルとして金沢大学附属病院整形外科に転送されます。これらのデータは、金沢大学附属病院整形外科で電子ファイルとして集計・保管されます。研究を担当する研究参加施設には電子ファイルで集計されたデータを送付し、データ解析が行われます。</p>

<研究組織>

金沢大学附属病院 整形外科 出村諭（実施責任者）、加藤仁志、新村和也、横川文彬（研究分担者）

北里大学 整形外科 井上玄

九州大学 整形外科 岡田誠司

慶応大学 整形外科 渡辺航太

千葉大学 整形外科 古矢丈雄

名古屋大学 整形外科 今釜史郎

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

整形外科 氏名:澤田 浩克

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2493 (PHS)8714

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)